

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.127 2008.12.8

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内  
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238  
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://www.soc.nii.ac.jp/jsei

## 日本教育情報学会第25回年会 開催【予定】

日本教育情報学会第25回年会は、

日時:平成21年8月22日(土)~23日(日)【予定】

場所:立命館大学 朱雀キャンパス(京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1)

URL:[http://www.ritsumeijp/accessmap/accessmap\\_suzaku\\_j.html](http://www.ritsumeijp/accessmap/accessmap_suzaku_j.html)

で開催を予定しています。[詳細は次号掲載予定です]

## \*\*\*\*\* 第24回定時総会報告 \*\*\*\*\*

8月19日(火)13:00から大妻女子大学 多摩キャンパスにおいて、日本教育情報学会第24回定時総会が開催されました。

正会員455名のうち96名の出席があり(委任状による出席者55名を含む)、定款27条により総会は成立。後藤忠彦会長を議長として総会を開会しました。

### 【提案された2議案】

第1号議案 2007年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 2008年度事業計画及び予算案の件

は、審議の結果、原案通り承認されました。(議案内容はNewsletter No.126をご参照ください。)

総会終了後、日本教育情報学会学会賞の表彰式を行いました。

\*\*\*\*\* 2008年度日本教育情報学会 学会賞受賞者 \*\*\*\*\*

●奨励賞 (1件)

前年度の学会研究発表大会において発表された優れた研究の中から選考する。

- ・及川 浩和 (中日本自動車短期大学)

「中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発」

(2007年第23回年会発表)

●論文賞 (2件)

学会誌『教育情報研究』に掲載された論文のうちで特に優れたものに対して授与する。

- ・沖 裕貴 (立命館大学)

「中学生の自主性尺度得点と学業成績ならびに個人の諸条件との関連」

(教育情報研究第22巻第4号発表)

- ・加納 寛子 (山形大学)

「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムの開発

- MMRS (Mind Map and Relief System) の開発とその使用感について -」

(教育情報研究第23巻第4号発表)

●特別賞 (該当者なし)

\*\*\*\*\* 日本教育情報学会第24回年会開催報告 \*\*\*\*\*

年会に参加していただいた皆様にお礼申し上げます。

第24回年会実行委員会委員長 本郷 健



後藤忠彦 学会長の挨拶

8月19日～20日の2日間にわたって行われました年会は、夏の暑い盛りではございましたが盛況のうちに終了することができました。これもひとえに参加して、盛り上げてくださった発表者、参加者の皆様の熱意の賜物です。ほんとうに、ありがとうございました。

申し込みされた参加の合計は約200名で、その内訳は事前申し込みが94名、当日参加が48名、その他、学生参加やご後援いただいた教育委員会関係の方々でした。

今年の年会は、午前中の基調講演では「新教育課程の目指す学力と人間力の育成」という演題で、東京大学大学院教授、市川伸一先生がお話くださいました。10時30分の開演には、300人が入る階段教室がいっぱいになる盛況ぶりでした。講演は、これまでの教育改革の一連の流れを概観しながら、学力の捉え方の変遷を整理し、「人間力の育成」の背景について紹介されました。人間力の要素について、また今次の学習指導要領の中にもしばしば見受けられる「習得と探求の学習」について、提唱者である市川先生から、そのねらいや考え方とともに指導事例などが紹介されました。最後に、今次の学習指導要領の改訂の背景にある指導や内容のバランスの大切さを主張され、まとめとされました。まだまだ、講演の内容は尽きない様子でしたが、限られた時間の中で、貴重な情報がふんだんに盛り

込まれた講演でした。なお、基調講演のまとめは学会誌にも掲載される予定ですので、ご期待ください。

午後のパネル討論は、「学校教育における近未来の ICT 活用」というテーマで、コーディネータであるディア教育開発センターの中川一史先生はじめ、教育の現場を代表して、和歌山市立有功小学校の本岡朋先生、教育行政の立場から船橋市教育委員会の秋元大輔先生が登壇されました。2名の先生方は、日ごろの実践活動から見えてくる ICT の可能性と課題について提言されました。



シンポジウムの様子

また、研究者の立場からは武蔵大学の中橋雄先生が、機器の提供側からパイオニアソリューション株式会社の大田泉氏が、提供者の期待する利用と新たに見えてきた活用の有り方などについて、実践例の紹介を通して熱く語っていただきました。この学会は教育実践を何よりも大切にしている研究者の集まりです。実行委員会としましては、学会の趣旨に相応しいシンポジウムになったことを、登壇者の方々に心からお礼申し上げます。

初日と最後の二日目は4会場にわかれて、97件の課題研究と一般研究の発表がありました。会場は、暑い外気の中での移動を避けるために、一つの棟内でまとめました。1階から3階へ、またその逆へと上下の移動が大変かとも思いましたが、事故も無く無事終了しました。

今大会は、東京地区の3女子大学（大妻女子大学、川村学園女子大学、十文字学園女子大学）の連合のような形態で進められました。発表会場での運営は大妻女子大学の学生が、受付等の仕事は川村学園女子大学の学生が担当しました。

今回初めて採用しました Web による申し込みや論文提出システムは、十文字学園女子大学の実行委員の先生方に提供していただきました。このシステムが無かったならば、おそらく今年会は、このように順調には進められなかったものと思われまます。新たな試みが始められたことに感謝申し上げます。

本年会のもう一つの新たな試みは、2日目の昼休みに行いました「研究会フリートーキング」セッションの設置です。総会で林副会長からもお話がありましたように、研究会活動をより一層充実させることが計画されております。その一環として、フリートーキングの時間帯を設けました。

このように、今年会はいくつかの新しい試みがなされた大会です。まだ十分にその機能を果たせたとは申せませんが、こうした試みがスタートできたことは喜ばしいことと考えています。

多摩の夜景を見ながら、屋外でのビヤガーデン風になってしまった懇親会会場での熱く語った教育談義が、今も心に残っています。

大会を振り返ってみますと、Web ページの迅速な書き換えができなかったことや発表当日の細かな対応の不備など、反省すべき点はいろいろ思い当たります。

最後に、

**参加された皆様のご協力、ほんとうに、ありがとうございました。  
また、来年の年会でお会いしましょう。**

**\*\*\*\*\* 新研究会設置についてお知らせ \*\*\*\*\***

下記の研究会を新しく設置することになりましたので、お知らせします。

**研究会の名称**

教員免許と現職教育研究会 担当：服部 晃（岐阜女子大学）

**設置の趣旨・目的**

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入され、①平成 21 年 4 月 1 日以降に授与される教員免許状に 10 年間の有効期間が付されること、②10 年毎に（平成 21 年 3 月 31 日以前に教員免許状を取得した者にも）2 年間で 30 時間以上の免許更新講習の受講・修了が必要となること、となった。国及び教員の任命権者である教育委員会、教職課程認定大学等及び各学校の教員の取組や対応には多くの課題があり、何よりも、幼児・児童・生徒の教育に及ぼす影響は測り知れない。そこで、この研究会では教員の養成・採用・研修等に関わる様々な立場から「教員免許と現職教育」について研究協議を行う。

**\*\*\*\*\* 運営本部事務局よりお願い \*\*\*\*\***

**◆ご登録の住所・勤務先等の変更について**

ご自宅や所属先の住所等に変更がある場合は、氏名・会員番号と変更事項をご記入の上、E-mail、FAX もしくは郵送にて、運営本部事務局へご連絡ください。

**◆学会誌「教育情報研究」の投稿について**

「教育情報研究」または「ホームページ」に掲載の『投稿要領』をご確認のうえ、『投稿の手続き』および『執筆手順』に従い、『投稿票』を添えて、運営事務局へご投稿下さい。

なお、投稿票はホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei> から、ダウンロードできます。

日本教育情報学会 運営本部事務局  
〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル 4F  
岐阜女子大学 文化情報研究センター内  
Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238  
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp